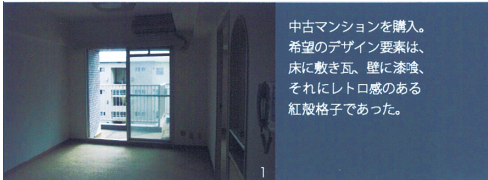
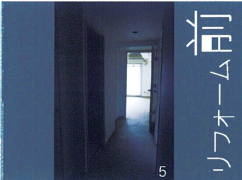


リフォーム前後の写真

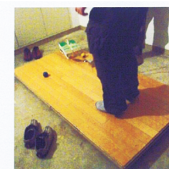


中古マンションを購入。希望のデザイン要素は、床に敷き瓦、壁に漆喰、それにレトロ感のある紅殻格子であった。



床音実験

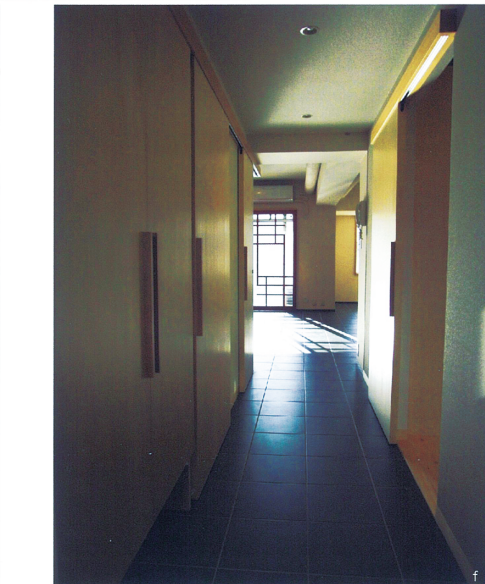
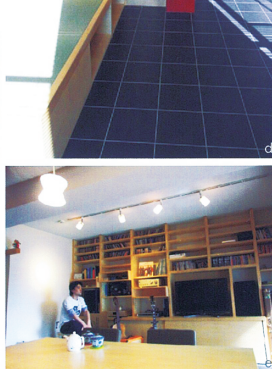
床の実物サンプルをつくって騒音実験を行った。スプーンや本を落とす、キャスターを転がす、歩き回るなどの音を階下で聞いてもらった。重量衝撃音はフローリングよりタイルの方が伝わりにくいのに、「タイルはうるさい」という既成概念が、階下の方にタイル貼りの床を歩く音が大きいと思わせてしまったが、理事長の立ち会いにより客観的な結論を得ることができた。



リフォーム後



瓦のようなタイル貼りの床の上で暮らしが始まる。一部屋のみクローズドにした以外は、間仕切り、天井のダクト廻りを取り除き、すっきり広々と。建具はすべて引き戸で、ひとつながりの空間を実現。



左手前から靴箱、洗面の引き戸、トイレの引き戸、右手は個室の引き戸。この家では、引き戸を開けておくのが普段使い。クローズドな個室は、隔ての向こうにウォークインクローゼットを備えている。



カクカクハウス

個室は妻、小上がりは夫の部屋でスタートしたが、これら二つの違うタイプのスペースは二人それぞれの、あるいは二人一緒の、はたまたこれから増える家族も含めて、暮らしの変化に添って使い分けられていくだろう。

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／特筆すべき住宅性能向上の内容など

床騒音問題を、理事長を巻き込み解決！	・住民は互いに顔見知りになる。
「床仕上げのカーペットを変更するには階下の許可を得るべし」という住環境を守らんとするマンション規約と、「希望のインテリアで暮らしたい」という生活願望が衝突してしまったこの計画。リフォームする者、階下の者、理事長とが協力し合い出した答えは、騒音実験を行って決めるというもの。そして得た教訓は、	関係者全員が真摯に向き合い、床仕上げの変更を納得することができたが、リフォームする側の負担は大きかった。建て主はこの問題が起きたときはリフォームへの気持ちがあくじけそうになったが、理事長の協力を得て乗り切ることができた。今後マンション理事会はリフォームの取り組みを強く意識し、自らの住環境を整えやすいシステムを構築していくべきである。
・生活意欲を掻き立てるリフォームはマンションの価値をあげることに、促進すべき。	今回の話し合いがその先駆けとなって、誰にも偏った負担のない方向に進んでほしい。
・互いの暮らしを思いはかる。	

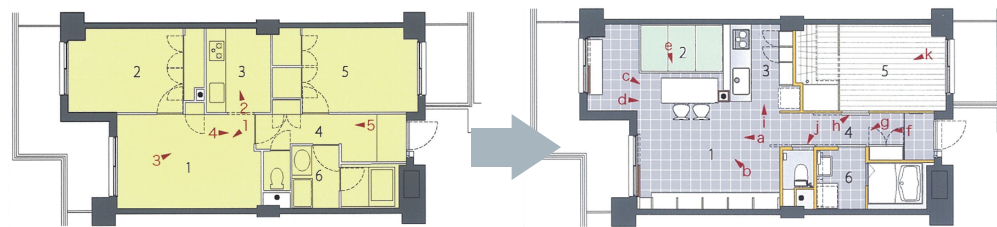
性能向上の特性
間仕切りの少ない広々空間によって通風を確保。階下の騒音防止を考慮した床構造。

特に配慮した住宅性能
上げ床にして、自由な配線を可能に。また、制震マットを挟んで階下への騒音を考慮、合板を三重に敷いて弾性接着剤を使用し、タイルの割れに備えた。

所在地 東京都世田谷区	築後年数 22年	施工期間 50 日間
該当工事面積 58.39 m ² / 総工事床面積 58.39 m ²	該当部分工事費 1,200 万円 / 総工事費 1,200 万円	
居住者構成 15歳以上65歳未満: 2 人 / 65歳以上: 人 / 15歳未満: 人 / ベッド: 人		
設計会社 アトリエノット	担当者 井上 孺子、林 奈津子	
施工会社 d.a.c	担当者 淡路 勉	

リフォーム前

リフォーム後



- 縮尺 1/150
- 1. リビングダイニング
 - 2. 南室
 - 3. キッチン
 - 4. 廊下・玄関
 - 5. 北室
 - 6. 洗面脱衣室
 - 1. リビングダイニング
 - 2. 小上がり
 - 3. キッチン
 - 4. 廊下・玄関
 - 5. 北室
 - 6. 洗面脱衣室